

報道関係各位

2024年10月3日
株式会社 eve autonomy

【eve autonomy イベントレポート】
持続可能な道、物流の明日を育む
「国際物流総合展 2024」にヤマハ発動機と協同出展

～「μ to km」をテーマに、『屋外』対応の強さを示す～

株式会社 eve autonomy（静岡県磐田市、代表取締役：星野 亮介、以下「eve autonomy」）は、9月10日（火）から9月13日（金）まで東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開催された「国際物流総合展 2024」（主催：公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 他）において、屋外対応の無軌道型自動搬送車両「eve auto®」の実機によるデモンストレーションをお披露目いたしました。ブース内では1時間に1回のプレゼンテーションを実施し、eve auto®サービスと車両の特性を動展示を交えて分かりやすくご紹介させていただきました。

今回、eve autonomy として初めて国際物流総合展に出展しました。国際物流総合展は国内最大規模の最新物流機器・システム・情報等が並ぶ展示会であり、今回出展されていた「屋外対応」と付くサービスの中でも、eve auto の車両ほど雨や夜間に強い製品はないと反響を得ることが出来ました。

本レポートでは各コンテンツの見どころとご来場いただいたお客様の反響を公開します。





ヤマハ発動機との共同ブース



会場入口



eve autonomy ブース内プレゼン



eve auto 車両とヤマハ発動機 AGV 動展示

イベント開催概要

【会場情報】

展 示 会：国際物流総合展 2024

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東7ホール 7-1013

会 期：2024年9月10日（火）～9月13日（金）10：00～17：00

展示規模：580社、団体/3,241ブース

▼イベント全体来場者数

開催日	天気	来場登録者数
9月10日（火）		14,459名（10,022名）
9月11日（水）		20,272名（14,491名）
9月12日（木）		22,752名（16,814名）
9月13日（金）		26,710名（19,220名）

合計	来場登録者合計
	84,193名（60,547名）

※来場登録者数：展示会場にて来場者として登録された人数。会期中に「1登録」につき1回のみカウント。
 ※（ ）は前回「国際物流総合展2022」の来場登録者数です。

引用元：<https://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/ltt/report/quick.html>

イベントの見どころと反響

【1】 大盛況となった国際物流総合展 2024 と今年 eve auto が得た市民権

アジア最大級の専門展示会として2年に1度開催し、拡大・成長を続けている「国際物流総合展」。今年は2022年度の約1.4倍となる8.4万人が来場しました。入口付近のエリアは大きな盛り上がりを見せており、今回 eve autonomy のブースは東7ホールと最も入り口から遠い場所となりましたが、それでも「eve auto を見に来ました」と言ってくれるお客様が一定数いらっしゃいました。

昨年参加した展示会では、まだ社名もサービス名も認知度が低く、何と読めば良いかもわからないといった方もいらっしゃった状況から、今年のご指名いただけるまでとなりました。

また、今回出展されている中でも「自動搬送」を掲げている製品や車両が多く見られ、「屋外対応」の文字も見られましたが、eve autonomy のブースまで来られたお客様からは「屋外対応でも eve auto の車両ほど強い雨に耐えられるものはなかった」「eve auto ほど導入実績のある屋外搬送製品はなかった」等、会場を一周された方から有り難いお声をいただき、初めてサービスを認知された方も、既にご存じの方にも改めて eve auto の特徴を強く示すことができた展示会となりました。



ヤマハ発動機との共同ブース



eve auto の話を聞くお客様

【2】 3社・3ブースでの eve auto 車両展開

今回、eve autonomy は、ヤマハ発動機との共同でブースを展開した他、株式会社 山善（以下、山善）、岡谷鋼機 株式会社（以下、岡谷鋼機）のブースにも車両の展示を行いました。この連携により、各社からの紹介と新たな形でのソリューション提案、異なる業界の視点をそれぞれで展開する機会を来場者に提供することができました。

また、山善ブースでは小型 AGV と併せ、屋内から屋外まで一気通貫で提供可能な自動搬送ソリューションをプレゼンする中で、eve auto の動展示も行われました。東2ホールに位置したブースでは多くの来場者の目に止まり、露出強化に繋がりました。eve auto サービスに関して、会期中は連日新聞の一面に掲載され、ご来場できなかった方にも情報をお届けすることができました。



山善ブース内プレゼンの様子



岡谷鋼機ブース 車両展示

【3】 初の台車2台連結を行った動展示とブース内プレゼンテーション

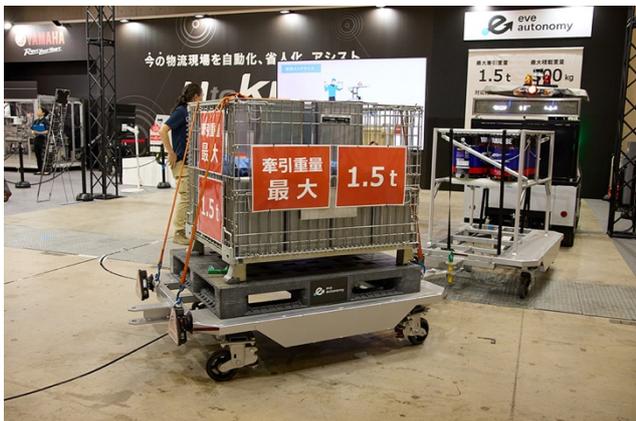
ブース内で注目を集めたのは、eve autonomy が初めて行った台車2台連結の動展示です。7月に開催された愛知県で開催されたロボットテクノロジー・ジャパンでは、初めて台車1台連結での動展示を行ったところ、多くの方に「台車は何台まで連結できますか?」「より多くの台車を引くことはできますか?」など、台車に関してのお問い合わせを頂きました。それらのお声をきっかけに、今回は複数台連結された台車により自律的に運搬作業を行うことで、より一層効率的な物流プロセスを表現しました。来場者からはさらにもう一歩進んだ荷役などに関する質問などが寄せられ、重量物の搬送に対する期待が高まりました。

また、展示会では恒例となったブース内プレゼンも行い、車両が完全無人で動く様子と安全性を証明するデモンストレーションに終日多くの方が立ち止まっては写真や動画などを撮って興味を持ってくださっていました。

今回のデモンストレーションの動画と資料は以下のフォームからお申し込みいただくことで、どなたでも閲覧が可能です。会場に起こしただけなかった方や、当日プレゼンを観覧できなかった方はこちらよりご視聴ください。

<アーカイブ動画・登壇資料請求>

https://eveautonomy.com/lp-logis-tech-tokyo2024_after



台車2台連結した eve auto 車両



ブース内プレゼンの様子

屋外対応無人搬送サービス「eve auto」



eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせず自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。eve auto は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、**雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での 1.5t までの無人搬送運用を実現**しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。製造業をはじめ、物流業、石油化学プラントなど様々な業界で既に導入され、40 拠点以上で約 60 台の導入実績があります。

【主要スペック】

サービス名／車両	eve auto(イブ・オート)／FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッテリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スベア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17%）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12%）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携等を実現する Bluetooth 通信機器

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy 事業開発部
 TEL：0538-40-9170
 Mail：mk@eveautonomy.com
 Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy
 本社：静岡県磐田市大中瀬 868 番地 1
 代表取締役社長：星野 亮介
 HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。